



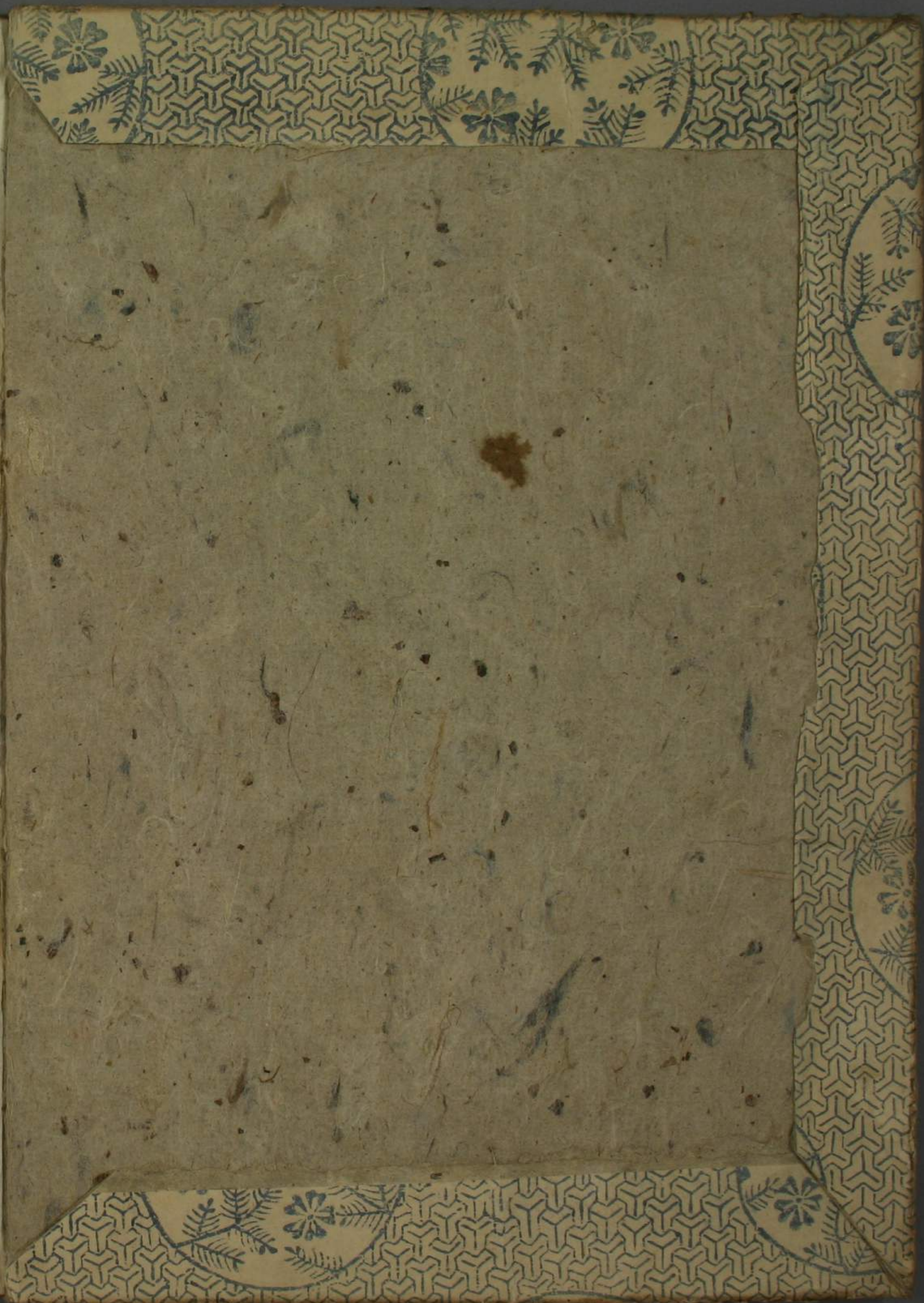
ル 3
3368
1



3298

和... 廣... 萬... 之... 今... 不... 好... 之...

大... 早... 8.5S... 書...



門 几 3
號 3368
卷 1

和朝名勝畫圖叙



畫者臥也。行住坐臥，人一生平素之動靜而臥，舒万物之上，不龜為支，躰安逸之主。猶畫之舒森羅万象之上，來今古之勝景，引衆覽之舒愉，異躰同趣。不酷善乎洛之漱石，兄者其性好逸，好閑，又好繪蓋琴碁書畫者，逸君子之弄漱子，自當諸越終放逐名系。

早稻田大學圖書館
藏 27.3.5 文書

世途於俗纏市擾之外恆友誘畫圖
百花爛案上文獻輻紙紈真自在毫
又可謂皇畿之一奇矣余未忍兄
之芝蘭豫覽兄之畫愛其筆端不鄙
兎穎幽邃雲龍走虎俱豪宕無崧生
牧笑談茲歲辛亥之春漱兄自圖和
朝之名所舊迹摸中華風雅勝景間
標歌詩帖四卷曰和朝名勝畫圖從

嶺幽壑奇石恠岩跨俗畫清風明月
在窻閨也我國古景舊勝以千折指
適一二之往途星渙粵老溪淵爲凸
丘雖名遺而妙工一下觚實景頗復
於古彼筑波瀑泉詠遺名阿古松繹
遺蹤此舉和歌之優游畫人涵養之
本也兄之圖彙與丹砂空青金膏水
碧實難得之器矣他日書亭玉枝軒

蘊懷激師之四帖來欲命印行貽不
 朽需書詩歌疊誣叙三近子亦點塗
 無用之贅詞述之叙漫塵清畫之美
 云時享保十六辛亥之冬

綱錦齋中村三近子題



和朝名勝畫圖卷之一目錄

神山

石田小野

高野里

宇治

本常後

朝原

詩圖

蘇峰

詩圖

腸石田池

詩圖

与謝海

詩圖

石坂美

詩圖

馬井入江

白川

神山 山城

加茂 絶久

神心 入道

生 入

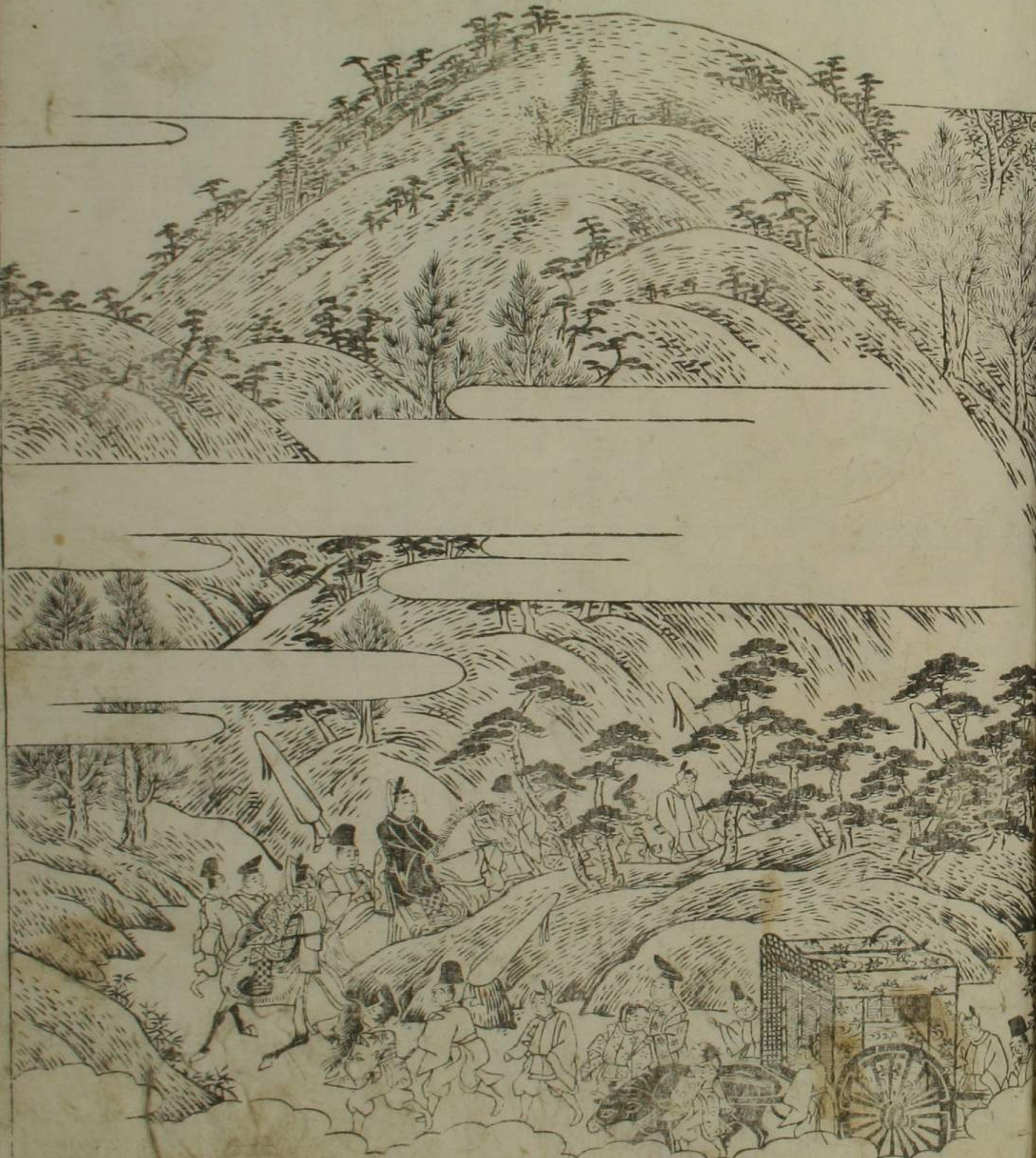
玉 棧

ひま 入

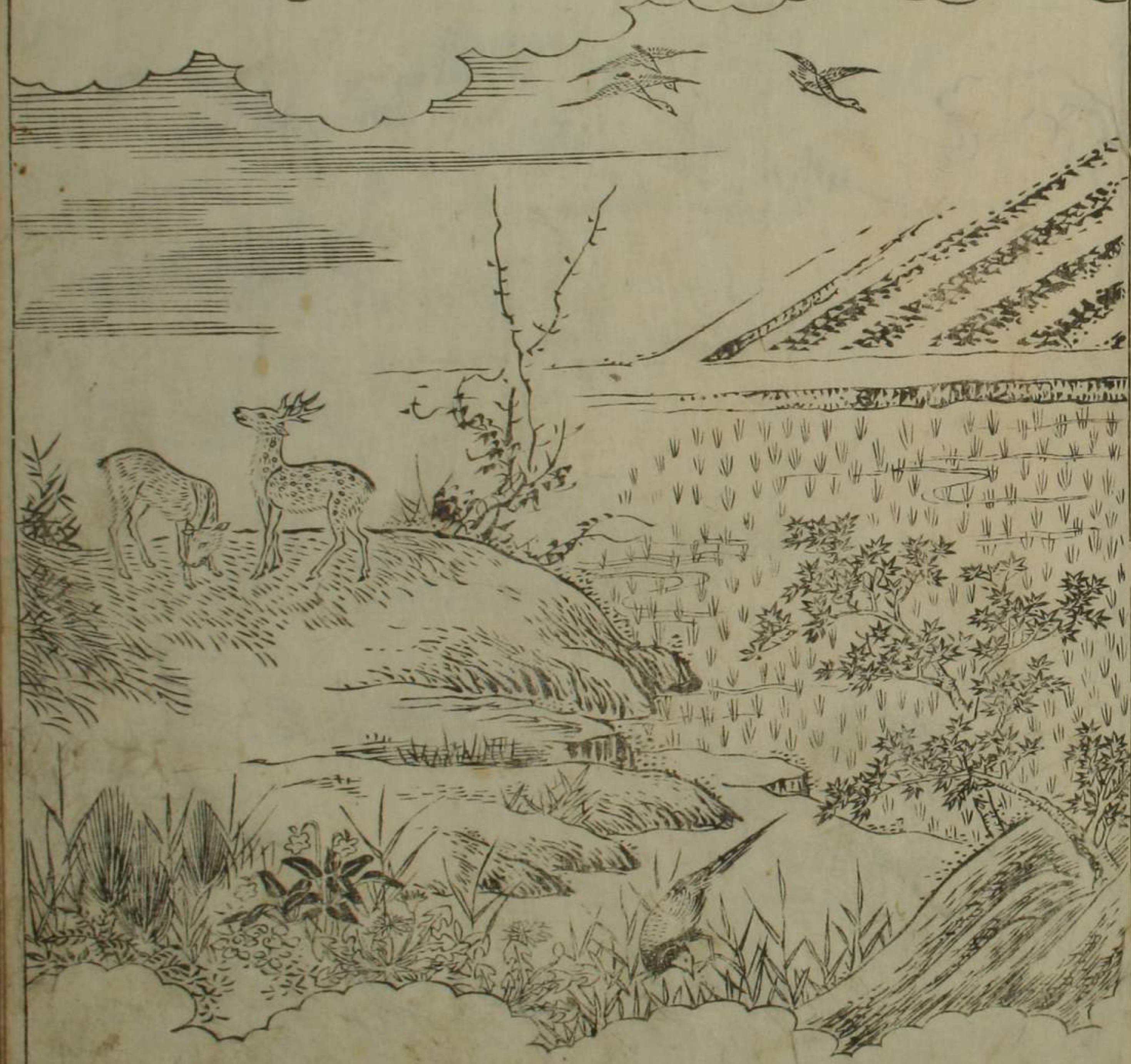
君 の

を 先

い の



小
山
の
ま
ま
の
ま
ま

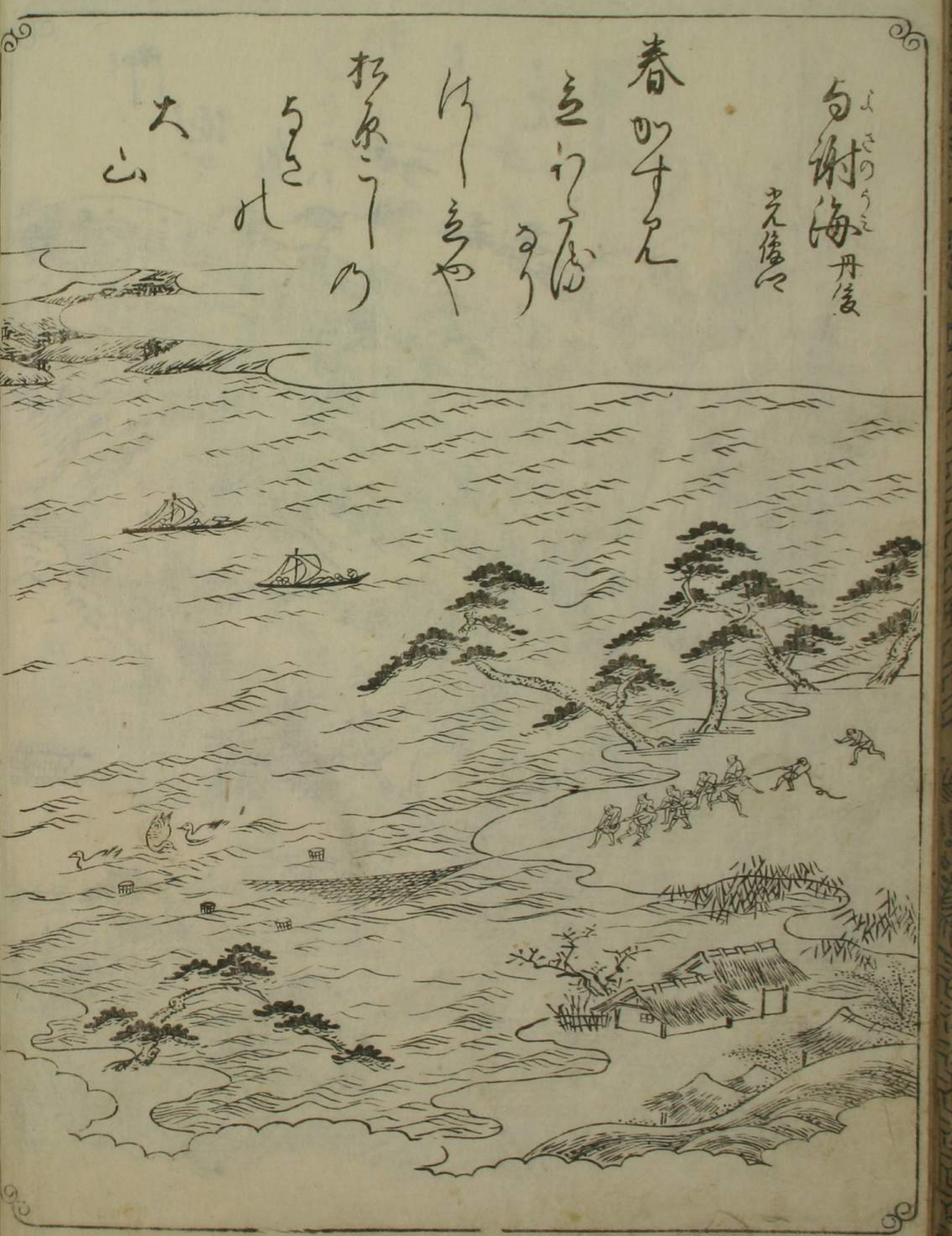
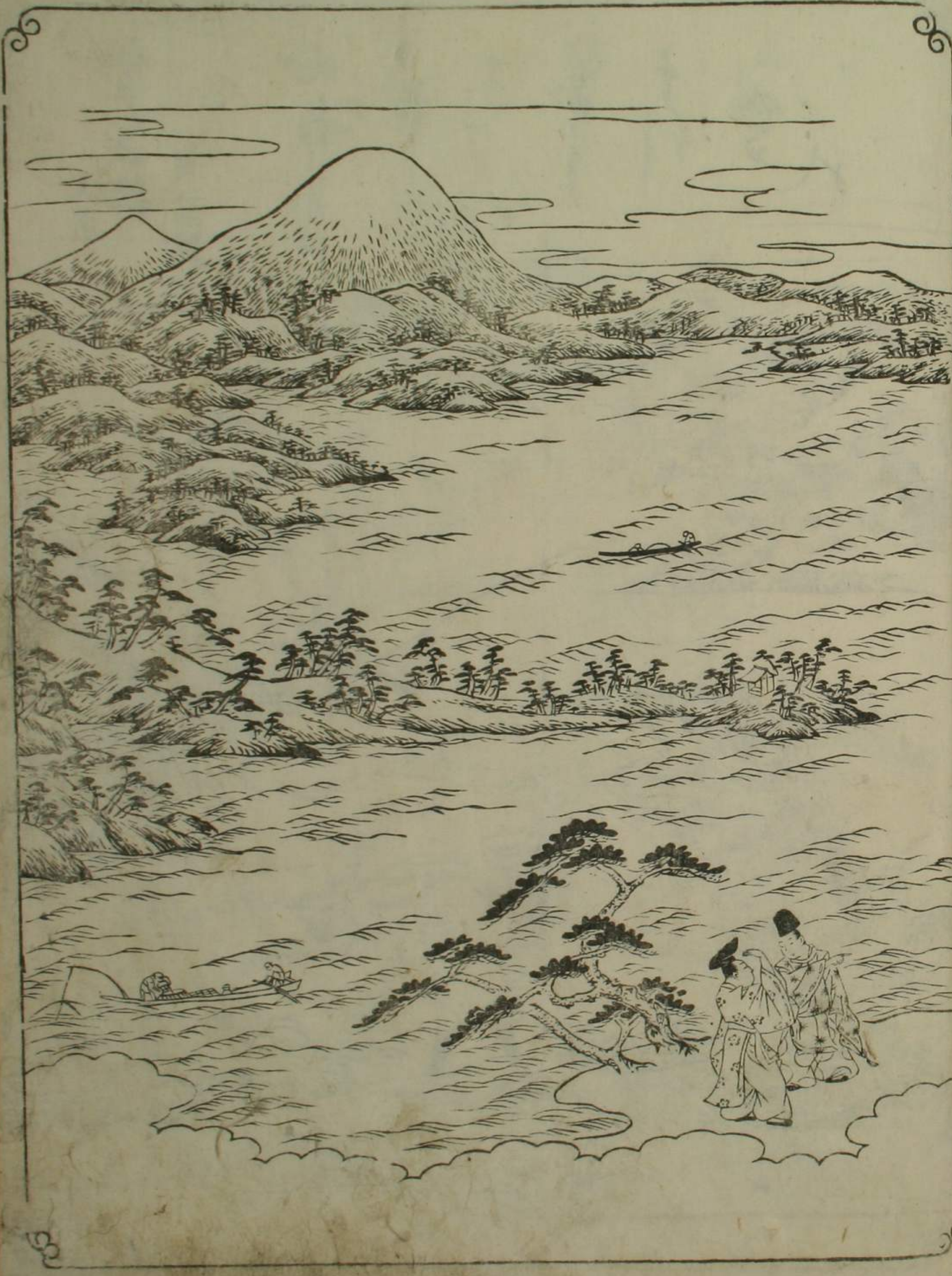


あ
の
ま
ま
の
ま
ま

勝間田氏下巻

形仲白





ふさのうら
 与射海 丹後

光徳

春のつる

ふりかへ

けしき

杉原の

うら

大
 山

上毛
と毛
はる
はる



大隅
の
見
る
人
物
の
見
る
人
物

大隅
の
見
る
人
物
の
見
る
人
物



春日即景

徐曜鶴

夜深相伴一燈
青強把唐詩帶

醉吟

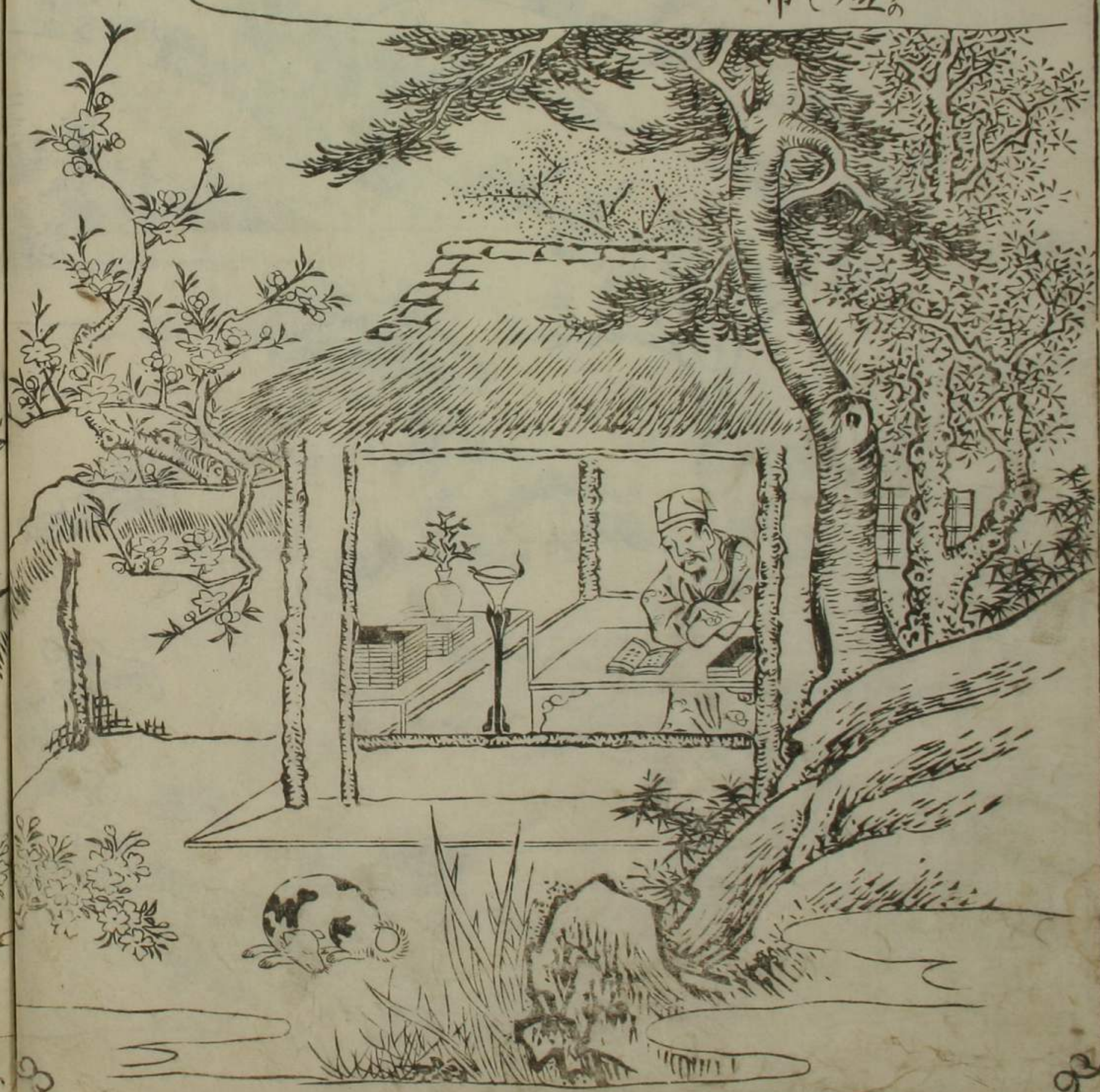
人立櫻桃

花樹月

誰知春在鎖

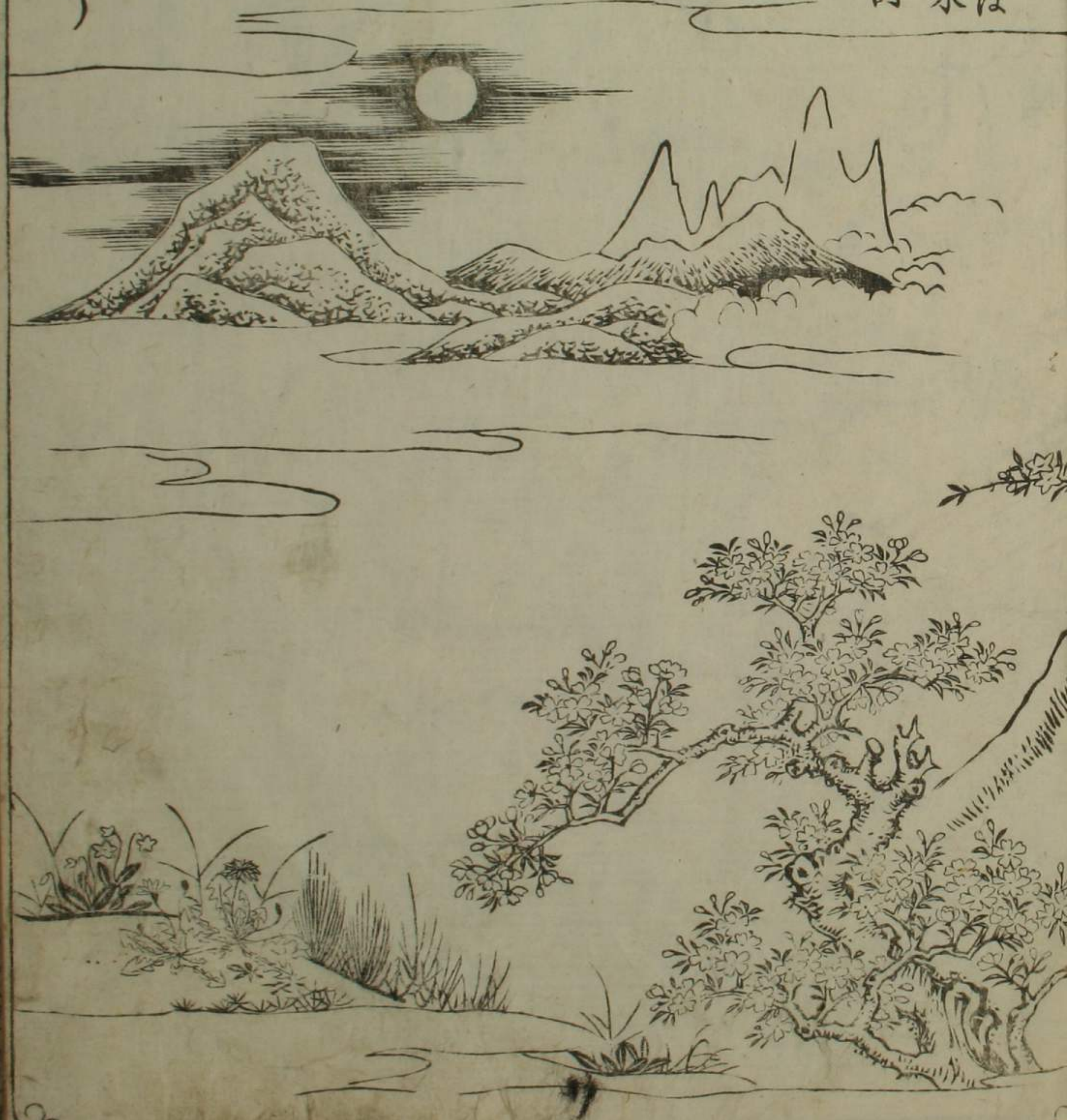
窓深

待意ハ春夜の
静るるに燈と
あそびて居れば
衣深て灯の
色と青うと



酒と飲そりしは
つらうく酔う来
て酔中一唐詩
乃中これ好句と
吟とれはか
樂ハ世と人
の極の櫻桃
花のわさ
とをききと
ちんして言
句のわさ
とよみのさ
まのわさ
かしのわさ
花と迷

詩



きよ
こし
ね
し
ゆ
り



本會儀 信濃
あはれ

あま
あま
あま
あま
あま
あま



秋の
 山
 の
 景
 松
 の
 林
 の
 中
 に
 人
 の
 影
 子
 が
 見
 え
 る
 山
 の
 頂
 上
 に
 建
 物
 が
 見
 え
 る



不
 夜
 火
 の
 景
 松
 の
 林
 の
 中
 に
 人
 の
 影
 子
 が
 見
 え
 る





朝原
 春の
 鳥
 鳴
 けり

春の鳥
 鳴けり



朝原
 春の
 鳥
 鳴
 けり

長
 生
 の
 心

美神入江
後人

子
十

吹
の

之
根

月
吹



美神乃
入江
錦
之



まんのうのしほ
公孫鴻 陸奥

うきうき

秋の

色は

の

うきうき

しほ

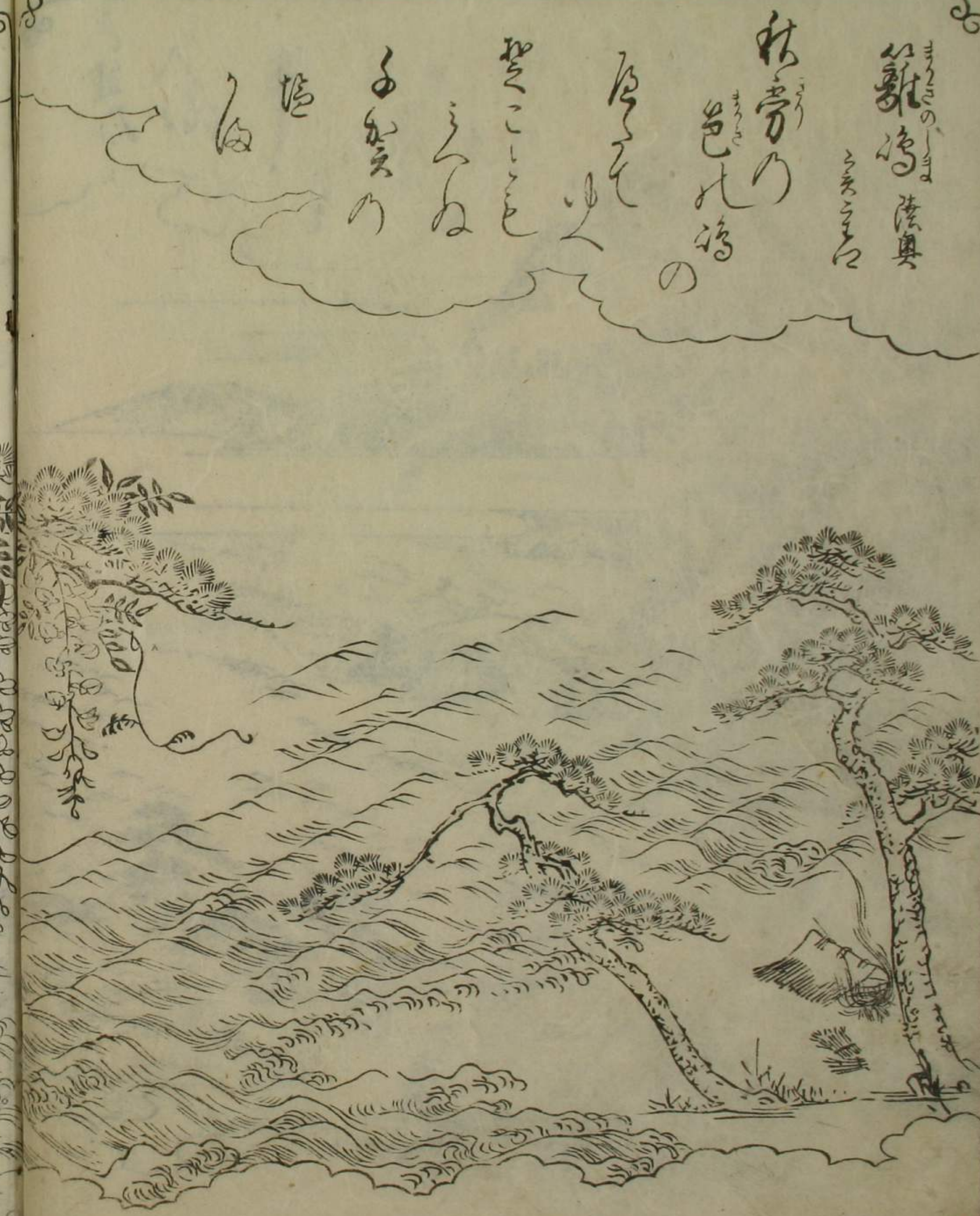
あまの

うきうき

うきうき

うき

うき





舟作
船為

過垂虹

何橋潭

垂虹橋下水連

天一帶青山落

照邊三十六陂

烟浦冷鷺鷥

飛上釣魚

舟

為意ハ垂虹橋乃
下ハ水漲て天
下ハ水漲て天
佳景歎こ中
一舟の夢の
夕夕青山又夕陽
の影からあ



此一入ん中なか
そはよ二千六の
つえ煙浦の家
わあて面ゆく見
半なかそ白鷺
はくそあまて
人とかそれこれ
らああ乃らあ
系れゆえ



